

■ 第11回国際冬期道路会議札幌大会が目前に迫り、その準備も大詰めを迎えようとしています。この大会は、PIARCが4年に一度開催するもので、冬期道路関係のイベントとしては世界最大規模の国際会議であります。今年新装になったスポーツ・文化の拠点札幌ドームで実施されるこの大会には、世界中から冬期道路管理に関係する行政、研究、土木技術など各分野の多数の専門家が集まります。

札幌ドームでは、屋内外で、技術研究発表、講演会、パネルディスカッションが行われるほか、その広いスペースいっぱいには本誌のPIARCニュースで紹介しているような国内、国外の多くの団体が出展する展示会や除雪機械の展示実演会が「ふゆトピア・フェア」と共同で開催されます。雪氷関係に限らず、自動車、環境、情報通信、ITSなど幅広い分野での国際色豊かな展示になります。最新の技術情報が紹介され、交換される場になるものと期待されています。当センターでも、出展ブースを確保し、「道の駅」などの紹介展示をすることにしてあります。

展示会や展示実演会は入場無料です。読者の皆様方も是非この機会に札幌ドームの見学かたがた、国際会議の雰囲気にもふれてみてはいかがでしょうか。



編集後記 From Editorial Room

- この号の第1回編集打ち合わせを行ったのは平成13年5月17日。この文章(編集後記)を書いているのが平成13年11月21日。約半年が経過。この間に、オサマ・ビンラディンの作業らしい同時多発テロ。PIARC札幌大会にも影響があるや否や。道路予算の後ろ盾により道路管理で飯を食っていきけるのも平和のおかげ?。次号発行までまた何が?。アラの神に平和を祈りましょうか。(M.A)
- PIARCやSIRWECなどの国際会議も目前に迫り、発表、展示、テクニカルツアーなどの準備に追われる毎日である。公共事業に対する逆風が吹き荒れる中、冬期道路に関するこれらの国際会議を札幌で開催することは、積雪寒冷地の道路交通の重要性をアピールする意味で、非常に貴重な存在になりつつある。是非これらの大会を成功させ、21世紀の北海道の新しい発展と道路の役割像を描いていきたいものである。(Y.K)
- 今までは、道路を作るほうの仕事ばかり長くやっております

ましたが、この4月から、道路維持の仕事に携わることになり、年々厳しくなる財政事情の中で、効率的な予算執行など、道路維持の難しさを痛感しております。今後は、さらに今回のテーマでもある、「道路のバリアフリー」を意識した道路維持を心がけていきたい。(K.K)

- 先日、私が住んでいるマンションの会合で、共用玄関のバリアフリー化の話題で盛り上がっていたところに、ある主婦が「この建物はエレベーターが奇数階にしか止まらないが…」との質問が!!それまで熱弁をふるっていた理事長さんもいささか腰砕けになってしまい、それ以降この話題は聞こえてきません。何事にも、正しい知識、対象を深く捉える洞察力、そして関わる人々への配慮の重要性を再認識した一コマです。

今日、筐物から公園、道路に至る種々の公共施設等の建造でバリアフリー構造が導入されていますが、これを必要とする人々にとって、本当に役立つものであってほしいと願います。(K.K)

『北の交差点』とは…

古来、道が交わる場所では、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。『北の交差点』というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出を目指して、維持・管理に関係する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点[®] VOL.10

- 2001年12月発行
- 編集・発行/財団法人北海道道路管理技術センター
〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目20番地東京建物札幌ビル6F
TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578
- 制作・印刷/株式会社須田製版